

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2025 5 May No.66

みんなの夢

2025 年 5 月 1 日発行 (年 3 回)

発行所／社会福祉法人 名北福祉会

発行人／黒川 富子

〒 462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>



おいしいよ
めいほく鳩岡の家



「友の家マガジン」
をみて談笑
めいほく友の家



お散歩だいすき！
わくわく安井の家

とっておきの1枚 障がい部



お世話になりました
めいほく共同作業所



お買い物楽しみ♪
のびっこ



気分よく歌って
リラックス
町北ホームゆうやけ



しゃぼんだま大好き
のびのびクラブ



みんなで食べたよ
友の家ホーム いっぱ



レーサー気分
めいほくホーム

今回は、各施設の取り組みを紹介します。
今年度もよろしく願います。

障がい部



のびのびクラブ

運動を楽しもう！



トランポリンやバランスポール、鬼ごっこ、お散歩、パラバルーン…。体を動かすことが大好きです。のびのびに到着するとすぐに「タッチ！」と周りを誘って鬼ごっこを始めたり、とても高くトランポリンで跳んだりして、学校の疲れを全く感じさせないような子ども

もたちもいます。

お散歩に行くと、年上の子が年下の子たちと手を繋いで歩いたり、「こっちへ行きたい！」「こんなものがあつたよ！」と教えてくれたり、部屋の中とは全く違った姿を見せてくれます。一歩外へ出るだけで、たくさんの方の成長を感じることが出来ます。

2025年度も、それぞれの子どもたちが楽しみながら思いっきり体を動かすことができるようにしていきたいと考えています。

のびっぴ

自分の思いを
実現できるように

のびっぴの子どもたちは毎日が表現あそび。「ラプンツェルみた



いでしょ♪」と三つ編みのカラーひもを頭にくつつけたり、「カッコイイのできたよ！」と新聞紙でお面や剣をつくったり、普段の遊びの中でも子どもたちの発想力・表現力にはいつも驚かされています。

おやつ時間に『お絵かきチョコペン』をしました。チューブからチョコを出しておせんべいに絵を描くのですが、ちょっと難しくてもチョコが出る感触が楽しくて、みんな真剣です。描いた後は「いただきます！」

とってもおいしい表現活動でした♪

2025年度も『自分らしく』を大切に。子どもたちの思いや願いがいっぱい実現できるようにします。

めいほく共同作業所 食を楽しむ

食べることが大好きな仲間たちは、給食をとっても楽しみにしています。

毎日食べている給食は、1か月ごとに献立が決まっています。仲間は月初めにもらう献立表のチェックから入念に行います。

人気メニューはやはり揚げ物、続いてお肉。でも健康のためにも魚は大事だね！と言いながら、魚も残さず食べている人がほとんどです。

こだわりや偏食で食べられる食材に限られる仲間もいますが、できるだけ食べてもらえるように、個別の配慮もしながら食事をとってもらっています。





めいほく友の家 地域のつながりや 他団体との交流を大切に

毎年行っている友の家まつりでは、地域にビラを配り、福祉大学の学生さん7名がボランティアとして参加、地域を巻き込んで盛り上がりました。

今年度は「より楽しく食べられるように・残さず食べられるように」をモットーに、仲間の健康についても気をつけながら、食事の時間を大切にとっていきたいと思っています。

社会福祉協議会と共同で名古屋市立北中学校に仲間と出向き、学生さんに向けてコミュニケーションをテーマに友の家の仲間のことを話す機会がありました。

また、愛生看護専門学校で20名が、3名ずつ仲間の生活を専門的な視点で学ぶ実習を受け入れました。

エゼル福祉会とは、オンラインでゲーム大会や紅白歌合戦の交流クリスマス会にも参加させてもらいました。ビンゴゲームでは、賞品を友の家の仲間が独占してしまいました。

2025年度も仲間と共に話し合いを大事に、地域でのつながりや他団体との交流を行っていきます。

わくわく安井の家

祝、成人！

3月13日に成人を迎えた仲間の成人式を行いました。この日の為にリハーサルを何回も繰り返し行ってきました。本人たちも練習



して、式の内容をつかみ、気持ちを高めていきます。

入場は、仲間たちが作成したアーチを持つてお出迎え。あいさつ、成人した仲間の紹介や好きな歌「夢をかなえてドラえもん」を歌い、踊りました。

大人になったお祝いとしてリュックサックを贈りました。

式の最後は、わくわくで一番好きな活動「缶つぶし」を披露しました。

今年度も仲間たちが「楽しい」「うれしい」と笑顔いっぱいになれるわくわくな活動を行っていきたいと思っています。

めいほく鳩岡の家

四季を楽しむ暮らし

桜の季節、鳩岡の仲間達は桜の花見で食べるお団子やおやつを楽しみながら、もう一方で5月に迫る遠足にも心踊る毎日です。

職員に「遠足行こうね」と言ってもらいたくて毎日ジェスチャーで表現される仲間もいます。いよいよ近づいてくると緊張の面持ちです。

4月に入ると「行き先投票」が始まりました。さあ今年はどこに行く？ユーチューブでイメージを膨らませながら、大事な一票を入

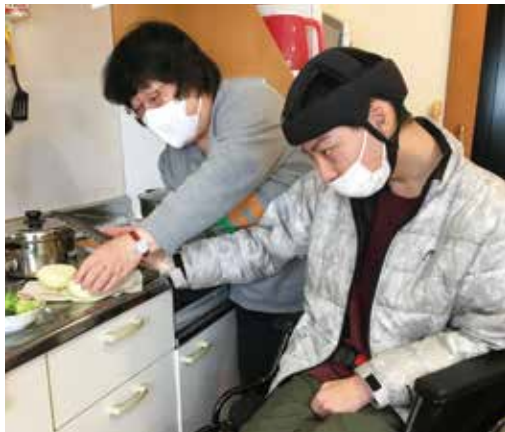


れていきました。

友の家ホーム

食えることが楽しみ

なかまの皆さんは、食えることを楽しみにされています。



2024年は、お誕生日に自分だけの特別メニューをプレゼントしてお祝いする企画をしてきました。嬉しそうに品物を選んだり、おいしそうに頬張る姿がありました。先日、仲間と職員でスパゲティを作って食べよう！となり、簡単な調理をしました。玉ねぎの皮をむいて、ザクザク切つてという作業を一緒にして、ちよつと麵の量

が多かつたかなあうって言うてたのですが、ペロリとたいらげていました。こんな風に食の楽しみを広げていきたいと思ひます。気候の良い日には、外でピクニックもいいなと思ひています。

町北ホーム

自分でできることを大切に

毎日の生活の中で仲間たちがやっていることの一つに洗濯たみがあります。朝、日中事業所に出発するまでの間に洗濯&乾燥が終わつたパジャマを畳んだり、夜はその日着ていた服が洗い終わる



と寝るまでの間に畳んで片付けをします。時々、自分の衣類ではないものが混ざっていると「ちがうよー」と言葉やゼスチャーで教えてくれて、頼りがいのある仲間たちです。

休日、外出（買い物）から帰宅するとおこづかいの確認タイム。レシートを見ながら電卓で計算、手元のお金を数えます。わかりづらいところは職員がサポートしながら、自分のお金をチェックします。

2025年度も仲間のみなさんがそれぞれにできることを大切にしなから、ホームでの暮らしをつくっていききたいと思ひます。

めいほくホーム

仲間たちの楽しみを広げて

2025年度の抱負として「デジタルツールとITを活用し、仲間たち一人ひとりの安心と楽しみを広げていく」ことを進めています。職員は、タブレットで支援記録を行い業務負担を減らすことで、仲



間たちと向き合う時間を大切にできる体制を整えていっています。

仲間たちには、タブレットを使ったゲームや動画視聴、オンライン会議の参加や交流など、新たな繋がりや楽しみ方を提供していきます。

一人ひとりの「やってみたい」を大切にしながら、デジタルの活用で日々の暮らしにゆとりや楽しみの時間を持つていきます。

時代に合った支援を通じて、「仲間たちが自分らしく過ごせるホーム」を目指していきます。

保育部

めいほく保育園

お腹の中に入ってみたよ

毎年、「命はどこからやってきたの?」「どうやって生まれてきたの?」という話をする機会を持っています。「もう一度お母さんのおなかの中に入ってみて生まれてくる体験」を卒園式を終えたぞっぐみが再度行いました。

袋に入ってごろんと寝転がり「私はお腹の中でパンチャやキックをしていたからお母さんが痛かったんだって。それやるからお母さん役の先生は痛いって言うってね」お母さんから聞いたことを再現す



る子、友だちを誘って「双子になる?」と言う子、思い思いの産まれる体験ができました。

産まれたときには、ぎゅっと抱きしめて「産まれてくれてありがとう」と伝えることを大切にしています。

第二めいほく保育園

新年度、子どもも大人も関係作り

新年度、たくさん新入園児が入園してきました。保護者の不安に寄り添いながら、子どもが安心して過ごし、園生活に慣れていくよう丁寧に進めています。

保護者とたくさん話をしていくうちに、より子どもを理解できるので、保育者にとっても大切な時間になっています。また、保護者と保育士がにこやかに話すのを見て、子どもたちも保育士に心を開



いてくれるのではと思っています。マットで山を作るとしつかり這い登っていく我が子の姿を「初めて見た」とお母さんが嬉しそうに話してくれました。これからたくさん話していく中で、些細なことでも相談しあえるような関係を作っていきたいと思っています。



めだか保育園

美味しい給食作りのお手伝い

毎年3月になると年長(そら)が給食室のお手伝いをします。

給食職員と「どんなメニューの何の食材をどうするか」を1対1で話し、自分で「やること」を決めます。

そらのリクエストメニューの日もあり、「今日はそうくんの大好きな肉じゃがのジャガイモをぼくが洗うんだ。いっぱい食べてくれるかなあ?」「味噌汁ってなかなかぴったりの重さにならないなあ」と真剣です。お部屋の小さい子もお手伝いの様子を見て、「きょうは〇〇ちゃんがつくったみそしるだ!」「おいしい!」とおかずもお汁も空っぽです。給食室にワゴンをみんなで返しに行き、「全



部食べたよ。おなべも空っぽ」と見せると、「〇〇ちゃんが手伝ってくれたから、特別美味しかったね。」と太鼓判をもらいみんな誇らしげな顔でした。

やだ保育園

手作り味噌で交流

毎年、卒園前の時期に異年齢のお部屋ではお味噌を作っています。卒園して、「味噌ができたかったころ招待するね」と卒園式に渡したみそ汁券をもって、今年もOBの1年生が、春休みに遊びに来てくれました。来られる日に来て、自分の過ごしたお部屋で交流。中には相談しあって同じ日に揃って来



てくれて、「お部屋の1年生同窓会」になりました。来るのをとても楽しみにしていた在園児たちは、「かけっこしよう」「鬼ごっこしよう」と小学生を取り囲んで遊びに誘っていました。お昼には、自作のお味噌を使ったお味噌汁で、一緒に昼ご飯を食べ、1年生の横に誰が座するかで大賑わいでした。

卒園児も在園児も同じ釜の飯を食べたつながりの強さを感じた味噌交流でした。

なえしろ保育園

中学生の職場体験実習

毎年、中学校の職場体験実習を受けています。2日間ですが5人の中学生が参加してくれました。中には大きくなった卒園生の顔もありました。子どもたちと遊んだりする中で、保育の仕事を知り、たのしさややりがいなど直接職員との会話の中で多くの事を学んだようです。汗だくで子どもたちと鬼ごっこをしたり、絵本を読んだ



り、着替えの手伝いも体験。最初はこわごわ手を伸ばしていた中学生たちも、いつしか笑顔が広がります。「かわいい」「自分の保育園の時を思い出した」など会話も弾みました。

子どもになりたい職業ランキングは、保育士は上位にはならないものの、保育の楽しさや素敵さをつたえる場があることに感謝しつつ、地域の中学生との交流も続けれると良いと思います。



めいほくつばみ保育室

親子であそぼう保育参加

当日は雨の日となり、室内で、リズム遊びやでんでん太鼓作りを保護者の方と一緒に楽しみました。リズム遊びでは、お気に入りの「きんぎょ」のポーズをお父さんに披露したり、お母さんと手をつないで「おふね」の形にしたり、嬉しそうなお母さんたちでした。

でんでん太鼓作りでは、紙皿にペンで色付けをし、シール貼りをして自分だけのオリジナルでんで



ん太鼓を作りました。真剣な表情でのシール貼り。お母さんに手伝ってもらい一緒にシール貼りをして満足そうでした。

お父さん、お母さんと一緒に過ごす嬉しさと楽しさを味わうことができたかなと思います。

くさのみ保育所

遠足たのしかったね

ひまわりのお部屋の子ども達は、遠足で東志賀公園にでかけました。くさのみからは遠いので全員乳母車に乗っていきました。時々乗る乳母車もまた嬉しいようです。

大きなお山の滑り台や、たいこ橋がついているトンネルの滑り台、舞台のような空間があるのが魅力的な公園です。お山の滑り台を駆け上がり頂上手すりを持って「のぼれたよ」手を振る子や、たいこ橋を行ったり来たりしたりする子、トンネル滑り台を何度も挑戦する子とそれぞれ楽しんでいました。

たっぷり遊んだ後は待ちに待つ



たお弁当の時間です。風が吹いて少し寒い日だったのでお弁当はくさのみに戻ってお部屋の中で食べました。愛情たっぷりのお弁当を食べてみんな笑顔がいっぱいでした。



24 時間緊急一時保育事業 困った時はいつでもどうぞ

めいほく保育園

めいほく保育園では 24 時間緊急一時保育事業を行っています。名古屋市内在住の生後 6 ヶ月から就学前のお子さんが利用できます。保護者の病気や冠婚葬祭などの急を要する事情がある時に 365 日 24 時間いつでも利用可能です（定員 3 名）。「困ったらいつでも来てね」と地域の子育てをサポートしています。子育てにしんどさを感じて「今から預かってほしい」と夜、保育園を訪ねて来たお母さん。その場ですぐに受け入れをしました。本来、子育ては一人でするものではありません。一人で抱え込まず社会の中で子育てできることを目指しています。周りに困っている方がいたら「めいほく保育園に電話してみたら？」と声かけてくださいね。

めいほく保育園 24 時間緊急一時保育専用電話番号 TEL052-938-5277

安心して過ごせる休日保育

なえしろ保育園

なえしろ保育園は、名古屋市の指定を受け、守山区の休日保育園として 10 年目を迎えました。休日保育は各区 1 か所で実施しています。北区ではめいほく保育園が実施園です。利用している家庭は、なえしろ保育園児だけでなく、他の保育園や他区の保育園児が登録され利用されています。

平日は違う保育園に通う子どもたちですが、休日保育での顔見知りが出ています。園庭やホールでにぎやかに遊んでいます。休日保育は、のんびりゆったりと過ごせることを大事にしています。

以前は日曜日の利用が多かったのですが、近頃は祝日のニーズが高くなっています。保護者の方が安心して預けていただけるよう努力していきたいと思っています。



高齢部



グループホームめいほく

地域で声をかけられて

早いもので開所して2年。昨年の10月には、職員や利用者さんの家族も集まり、にぎやかに秋まつりをおこないました。本番に向けた太鼓の練習をしていると、「お祭りやってるのかと思った」と近所の親子連れの方が来られ、子どもさんも一緒に太鼓をたたいてもう一つことができました。今回は初



めてだったため、ご近所の方に案内することはできなかったのですが、当日は覗いてくださる方もいて、次回はぜひ地域の方を招待できたらいいな。

利用者さんと隣の公園を散歩していると、「あ、デイサービスの人だ!」と子どもさんが声をかけてくれることもあり、これからも同じ町内に住むおじいちゃん、おばあちゃんの家としてグループホームが位置ついてほしいと思います。

めいほくの家

保育園との関わりを大切にしたい

めいほくの家に隣接するめいほく保育園の子どもたちの声を聞き、懐かしんだり、笑顔が増える利用者さんの顔を近くで見ることができた。



昨年より始めた卒園児を祝う会。3月、子ども達が喜ぶ会とはどんなことだろうとプレゼントを製作中に、「喜んでくれるかしら?」「子どもはすぐ大きくなるからね」と自身の子育てを思い出し会話に花が咲く場面がありました。

イベント当日、園児をみつめる優しく温かい目、涙を浮かべる利用者さんの姿がありました。後日、子ども達よりお礼の手紙を頂き、何度も何度も読み返す姿に人が人を思い合う素敵な時を感じました。

2025年は、そんな思いや

りの場面をたくさん作っていききたいです。

デイサービス町南

毎日のお出かけが楽しみ

デイサービス町南は、ほとんど毎日外出をしています。暖かくなったこの時期が絶好のお出かけのチャンス。「今日はどこか行くの?」「私も連れて行って!」と楽しみにしている利用者さんもたくさんいます。公園や神社、矢田川堤防、ドームイオンと行く場所



は様々です。外出先で出会う人たちとお話しながら外で過ごす時間を楽しんでいます。

外出先で見られない利用者の表情が新鮮です。外の空気に触れる事や日光を浴びる事はとても大切です。また、外に出る事で地域の人と関わる事が出来る良い機会です。

今後も外出の取り組みを続けて行きます。

めいほく町南の家

ご本人の望む暮らしを支える「訪問」

訪問支援は、ほぼ全員の方の利用があり、一日に数回行く場合もあります。具体的には、食事、薬を届ける、買い物、掃除、通いの準備、徘徊時の搜索などです。受診は、急な場合や定期受診があり、車で一緒にでかけ、保険証から日々の薬の管理までします。

新規の独居で認知症の方は、訪問から徐々に通所になる方が多いです。何回も訪問する中で顔見知



りになる関係づくりがとても大切だと感じています。その中でどんな暮らしをされているのか、ニーズを探っていきます。

ご本人の望む暮らしは？支援者の思いでやっていないかと悩むところですが、いつも問いかけながら、支援していきたいと思っています。



「デイサービスへいわ」の閉所のご報告

なごや平和福祉会からの要請をうけて、それまでのつながりや理念を共有できる法人として、合併し2年になりました。

事業継続したデイサービスへいわは、当初より課題が多くありましたが、高齢部の一事業所として、運営に努力してきました。しかし、財政面の課題が大きく、検討した結果3月末で閉所することにしました。

デイサービスへいわの職員として、日々業務に努めました。課題解決を思うようにすすめることができませんでした。名北福祉会の職員として介護の仕事に携わることができ職員一同心より感謝しています。利用者さんは、別の事業所に通っていただくことになりました。職員5名は、法人内の事業所に異動することになりました。

今日まで本当にありがとうございました。

デイサービスへいわ 管理者 日比 比呂恵

介護保険制度の抜本的改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名にご協力ありがとうございました。

みなさんのご協力で沢山の署名があつまりました。

介護職員は全産業平均と比べて月7万円の賃金格差があり、2024年改定では訪問介護の報酬が引き下げられ、閉所する事業所も増えています。

介護する人、受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換をもとめて、今後もよりよい制度の充実を求めています。

地域生活部



ケアプラン町南

新年度
新たな気持ちでスタート

4月から管理者が交代。10年間務めていた管理者は副管理者として1年間管理者業務の引継ぎやサポートをしていくことになりました。在宅生活を支えるためにご本人、



ご家族の気持ちに寄り添い、丁寧な支援を行ってきたケアプラン町南の組織の強みを最大限に活かし、今後も職員一人ひとりの力を結集して、より良いサービスの提供を目指して努力を惜しまず進んでいきたいと思えます。

相談支援センターめいほく

重層的な支援チーム連携を目指して

ご本人、ご家族の切実な願い、訴え、不安をしつかり汲み取った支援計画づくりを目指しています。一方で在宅支援に欠かせないヘルパー支援、ショートステイ先が見つからない厳しい現状があります。一朝一夕にいかない状況ながら、志ある支援者、信頼できるチームを足掛かりとして、重層的なネットワークを法人内、法人外、地域に粘り強く繋いでいきます。

ヘルパーステーションせら

笑顔と感謝と
先人の歩みに支えられて

障がいの仲間たち、介護の必要な高齢の方々、ご家族の思いに誠実にお応えしていきたいと努めています。ヘルパー不足が続いている中、心ある支援と経験知を重ね、長年勤めて頂いているヘルパーの方々の日々の支援が私たちの強みです。それが積み重なって、笑顔と感謝が生みだされた時はみんなが幸せになります。ご要望に応えられない現状を思うとき、めいほく60年の先人の歩みを振り返り、支えられ踏ん張っていきます。



「きょうされん第48次国会請願署名」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆さまの一筆一筆が、障害のある人たちの権利と暮らしを守る大きな力となります。お寄せいただいた署名は、国会に提出し、制度や施策の改善を求めてまいります。今後とも、すべての人が安心して暮らせる社会の実現に向けて、あたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。





新任職員研修

3月1日(土)



障がい部先輩から

2〜3年前に入職した、各分野の先輩職員からは、仕事の中で、やりがいになっている事や、失敗談、これから目指していきたいこ

いきました。
これから働く上で必要な就業規則の学習や、社会人としてのマナー講座、保育・障がい・高齢の3分野からの実践のミニ講義も行いました。

今年度は、新卒者4名を含む、合計9名の入職者がありました。法人から歓迎の挨拶からはじまり、その後、完成したばかりの「法人60周年記念動画」を視聴しました。60年の歴史をたどり、名北福祉会の理念を共有しました。



保育部先輩から

法人60周年記念動画が完成いたしました

完成まで長い道のりでしたが、プロジェクトに集結した職員、関係者が意見を出し合いながら、何度も作り直しして完成することができました。

名北福祉会が大切にしてきた理念と歴史を中軸に据えながら、50周年以降の10年に焦点を当て、これから先の進むべき道を示す動画になったと自負しています。広く公開する形はとりませんが、ご希望の方には動画をお送りいたします。ぜひご覧ください。



新入職員の感想より

＊子ども、障がいのある人、高齢者と幅広く目を向け、社会全体を安心できる空間にしていける考えが本当に素敵に思います。

となく、実感のこもったエピソードを話していただきました。最後のグループワークは円座になって、入職に向けた気持ちを交流しました。



高齢部先輩から

＊どの分野も支え方や手助けの仕方は違っても、目指すところは一緒で、利用者さんのためなのは同じだから、一緒に頑張れるのだ、と知りました。

＊不安も多かったですが、先輩のお話を聞いて、安心して、頑張っていきたいと思いました。

＊失敗を恐れず挑戦し、次に生かしていくことが大事だと思います。

＊一人で悩みを抱え込まず、職場の人たちを頼ることも大切だと思いました。

＊地域の人たちが暮らしやすくなるために、日頃から考えることの重要性を学びました。

人気 NO. 1 は「チョコチップクッキー」

作業所のクッキーは1つ1つ仲間の手作りで作られています。

15種類のクッキーの中、人気 NO. 1 は「チョコチップクッキー」になります。

ほろっとした食感、北海道産バターの香りを感じられるクッキーになっています。

また、たまご・バターを使っていないクッキーも人気です。サクサクした食感を楽しめます。

茶食ぼちぼちや地域のイベントで購入できますので、お見かけの際はご賞味ください!!

作業所のクッキー

めいほく共同作業所



クッキー・プリンが人気です



鳩岡クッキーは、海を越えてシンガポールでも販売されています。全国の作業所などで作られるクッキーをよりすぐり、その魅力を伝え社会参加に繋げようという「sweet heart

project」。そのプロジェクトの一つに選定されたことで、一昨年海外の大手製菓企業で全社員のクリスマスプレゼント品として採用されたことをきっかけにこれまで繋がる事がなかった企業との取引も次々と始まっています。

鳩岡のスイーツ

めいほく鳩岡の家

大和証券、フジテレビ、ブリストルマイヤーズ、伊藤忠、AOU 銀座の森（カフェ）、蔵漆倶（守山区カフェ）

プリンやクッキーは鳩岡の家併設のカフェだけでなく、「きたっこいちば」（北区役所ロビー）、茶食ぼちぼちカフェでも購入していただけます。是非仲間の作ったプリンやカフェをお手にとってお楽しみください。





カフェ茶食 ぼちぼち



地域の中で“みんなが集う場所”として茶食ぼちぼちを
よろしくお願いします。みなさんのお越しをお待ちしています。

〈営業日・時間〉

月曜日～金曜日⇒ 7:30～16:30 モーニング (7:30～11:00)

土曜日・祝日⇒ 8:30～15:30 モーニング (8:30～11:00)

ランチ月曜日から土曜日・祝日
(11:30～14:00)

居酒屋 ぼちぼち



毎週金曜日 17:30～

麻雀教室



第2・第4火曜日 14:00～

歌う喫茶 ぼちぼち



第3土曜日 14:30～

*子ども食堂、認知症カフェなどもやっています。

場所：みなみ町福祉センター 1 階 電話：052-911-5188

カフェ鳩岡 めいほく鳩岡の家



「いらっしゃいませ！」お店の扉を開けると元
気な仲間の声が店内に響きます。20代から
60代の多彩な4人の仲間が働くカフェ鳩岡は、
「ここに来るのが日課」「元気が出る」と好評をいただいています。

コーヒーをカップに注ぐ仲間、おかずをお皿に盛る仲間、食器を拭い
たり片付けたりと仕事は大変ですが、顔見知りのお客さんとのお喋りにも花が咲き、仲間の
顔は自信に満ちています。

仲間とご家族が街を歩いていた時、「こんにちは」とご家族の知
らない方から声をかけられた事があったそうです。仲間になると
カフェのお客さんとのこと。

「名古屋市立鳩岡作業所」を名北福祉会が引き継いだ際、地域に
開かれ繋がりあえるカフェを目指したことは少しずつ実りつつあ
ると実感しています。是非お誘い合わせてご来店下さい。

開店時間 8時30分～14時 (月曜日～金曜日)





めいほく友の家



めいほく共同作業所



めいほくホームあさひ



友の家ホームにほ



第二めいほく保育園



めいほく共同作業所分場



町北ホームゆうやけ



のびっこ



友の家ホームいっぽ



わくわく安井の家



めいほく鳩岡の家



西部医療センターくさのみ保育所



相談支援センターめいほく
ヘルパーステーションそら

めいほくホーム大和・大夢



めいほくつばみ保育室



めいほく保育園
子育て支援センターめいほく



グループホームめいほく
めいほくの家

名北福祉会本部
おたすけくらぶ



カフェ茶食ぼちぼち



地域交流センター
ふらっとるーむ



東町交流センター



なえしろ保育園
子育て支援センターなえしろ



デイサービス町南



めいほく町南の家



ケアプラン町南



やだ保育園
子育て支援拠点事業やだっこひろば

名北福祉会 本部	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-52-2 TEL : 052-911-1627	FAX : 052-911-1430
第二めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 1-12-2 TEL : 052-914-9554	FAX : 052-914-9567
なえしろ保育園	〒 463-0042	名古屋市守山区野萩町 2-61 TEL : 052-793-7546	FAX : 052-793-7547
めだか保育園	〒 463-0027	名古屋市守山区弁天が丘 1106 TEL : 052-798-7077	FAX : 052-798-7066
やだ保育園	〒 461-0040	名古屋市東区矢田三丁目 3-44 TEL : 052-768-6510	FAX : 052-768-6810
西部医療センターくさのみ保育所	〒 462-0057	名古屋市北区平手町 1-1-1 TEL : 052-915-3106	FAX : 052-915-3106
めいほくつぼみ保育室	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL : 052-991-1646	FAX : 052-325-2266
めいほく共同作業所	〒 462-0802	名古屋市北区上飯田北町 4-39 TEL : 052-916-4470	FAX : 052-916-4472
わくわく安井の家	〒 462-0023	名古屋市北区安井 4-12-7 TEL : 052-934-7461	FAX : 052-934-7462
めいほく友の家	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-124 TEL : 052-902-7707	FAX : 052-902-7717
めいほく鳩岡の家	〒 462-0025	名古屋市北区鳩岡町 1-1-5 TEL : 052-911-0055	FAX : 052-911-1155
友の家ホームいっぽ	〒 462-0065	名古屋市北区喜惣治 1-384-1 TEL : 052-982-7681	FAX : 052-982-7682
友の家ホームにほ	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-123 TEL : 052-908-6850	FAX : 052-908-6851
めいほくホーム大和	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL : 052-911-2515	FAX : 052-911-2515
めいほくホーム大夢	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL : 052-916-7008	FAX : 052-916-7008
めいほくホームあさひ	〒 463-0070	名古屋市守山区新守山 2205 TEL : 052-799-5070	FAX : 052-799-5071
町北ホーム ゆうやけ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 15-10 TEL : 052-715-5533	FAX : 052-715-5534
のびのびクラブ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-21 TEL : 052-791-7011	FAX : 052-739-7845
のびっこ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-2 TEL : 052-715-3680	FAX : 052-715-3681
相談支援センターめいほく	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL : 052-911-1600	FAX : 052-325-6222
ヘルパーステーションそら	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL : 052-910-0712	FAX : 052-325-6222
ケアプラン町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 1-1 TEL : 052-795-7571	FAX : 052-726-6750
デイサービス町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL : 052-795-3186	FAX : 052-799-3666
めいほく町南の家	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL : 052-778-7168	FAX : 052-799-3666
めいほくの家	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-917-4152	FAX : 052-910-0713
グループホームめいほく	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-508-7150	FAX : 052-910-0713
カフェ茶食ぼちぼち	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-911-5188	
地域交流スペースふらっとるーむ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
おたすけクラブ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
東町交流センター	〒 462-0803	名古屋市北区上飯田東町 1-10-1	

子ども一人で入れる食堂！

めいほくわいわい食堂

日 時：毎月第二水曜日 17：30～19：00
場 所：茶食ぼちぼち・ふらっとるーむ
メニュー：カレーライス（なくなり次第終了です。）
こども0円 大人300円 高齢者100円
☆食事前におもちゃコーナー開設しています

主催：わいわい子ども食堂プロジェクト
TEL 080-3636-5151

（北医療生活協同組合・くらしと法律を結ぶホウネット・名北福祉会）



ほっとできるひとときを

認知症カフェ ぼちぼちカフェ

開催日：毎月第3火曜日
時 間：14：00～15：00
場 所：茶食ぼちぼち



☆みなさんがやりたい事など参加者の声で運営しています。

※介護保険や健康のことなどご相談ください。
問い合わせ：法人本部 TEL 052-910-3066



やだほいくえん 2025年 シニアカフェたより

◆5月・6月の予定◆

5月14日(水) 染物で手づくり
6月11日(水) 写真で見る市電・瀬戸電の歴史

◇時間 午後1時30分～3時頃
◇参加費 100円 ◇場所 やだ保育園 ゆうぎ室

◆参加にあたってのお願い◆

※体調に心配な方は、参加をご遠慮ください。（咳・微熱等など）



＜主催・お問い合わせ＞

◆やだ保育園 電話 768-6510 東区矢田三丁目3-44
◆社会福祉法人名北福祉会 法人本部 電話 910-3066

やだ みんなの食堂

2025年 春号

4月から、「保育園で会食」と「お弁当持ち帰り」の両方で行います。
予約の時にどちらにするか、教えてください。

5～6月の予定

5月	30日 (金)	お弁当の配布 17時～18時	会食 ゆうぎ室
6月	20日 (金)	可能な方は、お弁当を 入れるエコバックなどの 袋を持参ください	17時15分～19時

●場所 やだ保育園
●子ども 無料
大人 300円
70歳以上の方 150円

要予約

食事作りのボランティアさん、食材の提供
などのご協力を募っています！

【お問い合わせ・予約】

社会福祉法人名北福祉会 やだ保育園
（東区矢田三丁目3-44 タカスタンダード工場向かい）
電話 768-6510

申し込みは、その月の、月はじめから受け付けます。みんなの食堂の予定は、ホームページでもお知らせしています

QRコードからの
予約は、こちら



名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共に作りましょう！！

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。支える会への加入をよろしくお願いいたします。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。

会 費 正 会 員 1ヶ月 1口 500円（5口以上）

賛助会員 1ヶ年 1口 1000円

団体会員 1ヶ年 1口 5000円

〈振込先〉

郵便振替口座

加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会

口座番号 00860-8-127322